



ビジネストーク

## 「ニュービジネス」で 新たな成長を

頭取 大道良夫

平成25年度最終回の「サタデー起業塾」を2月22日に開催し、席上、「しがぎん野の花賞」を5社の皆さんへ贈呈させていただきました。

「サタデー起業塾」は、「野に咲く花を大輪に育てたい」との願いを込め、平成12年に開講しました。以来、14年の歳月を重ね、毎回、受講生の皆さまの事業展開への熱い息吹に触れるとともに、新たな事業の芽が着実に育っていることを頼もしく思っています。

25年度は、新たに後半部分に「分科会」を設け、皆さんの予定時間を超過しての熱心な意見交換や議論が心に残りました。

「しがぎん野の花賞」は、「産学官」連携でニュービジネスに取り組み、顕著な実績をあげられた受講者を顕彰するものです。これまでの受賞者では、太陽光照明システムや機能性食品の開発販売など、それぞれの分野で立派に花を咲かせておられます。

25年度は、近江の麻とびわ湖のヨシを使った意匠ノートを共同開発された「滋賀麻工業」（愛荘町）、自己浮上式小水力発電装置を開発された「スターエンジニアリング」（守山市）、植物由来の機能性成分生成に利用するストレス負荷型装置のデータベース化を研究開発された「ツジコー」（甲賀市）、世界最小軽量3次元足型レーザー計測システム機器の開発および足型データベースを構築された「ドリームジープ」（大阪市）、高い精度・安全性・生体適合

性を有する消化管検査用小型ロボットを開発された「ミュー」（大津市）の5社が受賞されました。

いずれの事業もアイデアと情熱に溢れ、今後、大きなビジネスに成長するものと期待しております。

安倍政権の下、「日本産業復興プラン」、「戦略市場創造プラン」、「国際展開戦略」が掲げられ、経済政策パッケージとして産業競争力強化法が平成26年1月に施行されました。

経済雑誌「WEDGE」2月号では「ベンチャーブーム再来」を特集、「起業」の課題解決に向けて①工場で作った商品を自ら直接消費者に届けるなどの「商流改革」②ネットで地域活性を図る「クラウドマッチング」③旧来の販売手法を根底から見直す「常識を疑う」④下請けからの脱却や現代版家内制手工業などを目指す「Makers」⑤大企業がベンチャー企業のノウハウを活用する「大企業のベンチャー利用」の5つの方策が語られ、私も思わず膝を打った次第です。

当行も、あらゆる方策を追求するとともに、「経済が反転しつつある今こそチャンス」との気概を皆さまと共有し、ニュービジネス育成に一層取り組む所存です。

新年度の「サタデー起業塾」は5月に開講します。「第二創業を含むビジネスモデルの革新的『転換』」を旨とする「サタデー起業塾」への、皆さまのご参加をお待ちしております。